

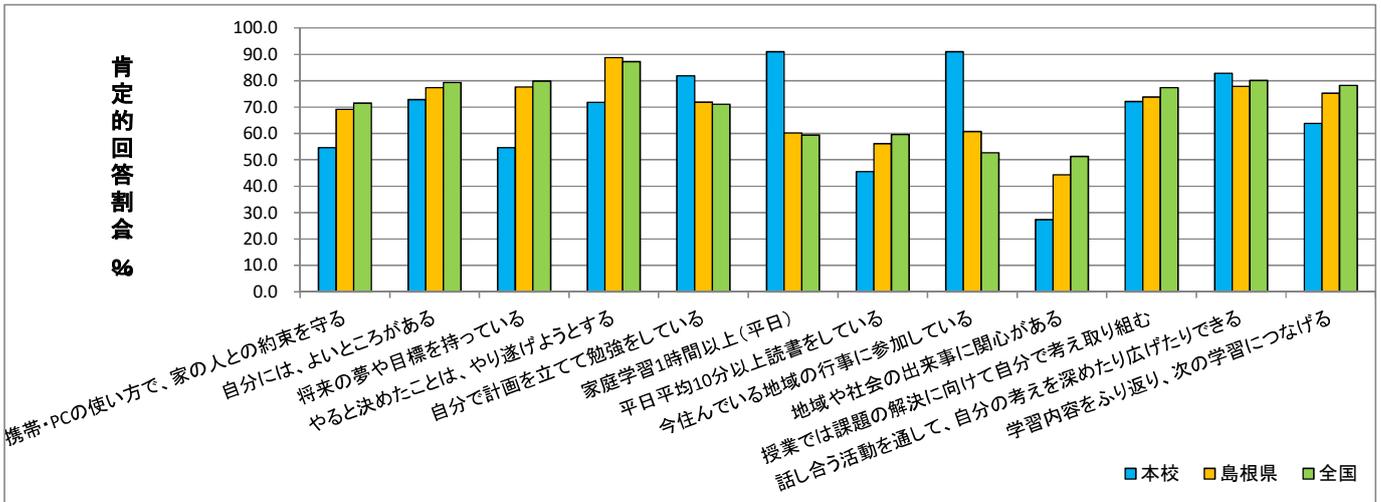
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(+)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○文の構成の基礎的なことは理解している子が多い。 ○無回答がなく、粘り強く考えようとする姿が見られる。 ●登場人物の心情を読み取ることが苦手な子が多い。 ●複数の資料や文章から、条件にあった解答を書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて文章を読んでいく指導をしたり、複数の資料を比べて読む経験を積んだりして、文章を理解する力を付けていく。 ・国語だけでなく、他教科や生活の中で条件のある例題に意図的に触れさせるようにする。 ・言葉集めや意味調べなど語彙を豊かにする指導を継続していく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○割合に関する問題がよくできている。 ○図形の構成要素や書き方を理解している。 ●複数の資料や文章から、条件に合った解答を書くことが難しい。 ●正しい情報(数値)を読みとって解答を導くことができていない子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題の数値に単位をつけたり線を引いたりして、数値が何を表しているのか理解が深まるようにする。 ・図を用いて考えを表現する機会を多くもち、正しい情報(数値)を読み取って解答できるようにする。 ・机上の学習だけでなく、体験活動を授業の中に積極的に入れていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○器具の名前やその使い方をしっかり理解している。 ○知識だけを問われたものはできている子が多い。 ●複数の資料や文章から、条件に合った解答を書くことが難しい。 ●目的→予想→結果→考察の基本的な実験過程が分かっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果だけに目を向かせるのではなく、必ず課題を意識して結果を整理したり、考察させたりしていく。 ・実験の状況をイメージできるように、教科書の発展的な実験にも時間がある限り取り組んでいく。

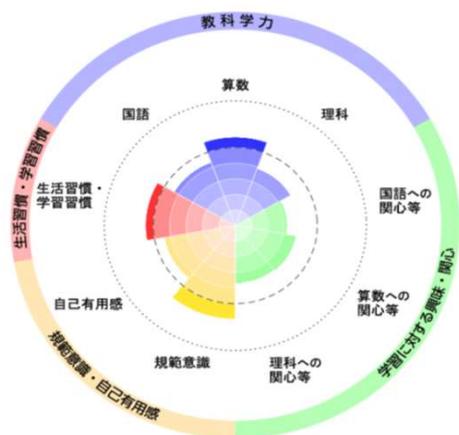
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(+)
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの児童が平日に1時間以上勉強している。 ○今住んでいる地域の行事に多くの子が参加している。 ●メディアルールへの意識が低い。 ●将来の夢や目標をもっている子が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアルールを意識させる。チャレンジ週間の取り組みを継続し、学習したことを実践できるようにする。 ・夢授業など外部講師を積極的に呼んだり、学校生活の中にキャリア教育を入れたりして、将来について考える時間をもつ。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

○図書館活用教育の充実
 ・読書の奨励、新聞ワークシートの活用、文章を正しく読み取る力をつける学習などを行い、読解力、言語に関わる力を育てる。
 ○ICTの活用
 ・電子黒板やタブレットを活用し、授業の中に相手意識をもって伝え合う活動を意図的にいれていく。
 ・タブレットドリルを効果的に使い、基礎基本を定着させていく。

【受検者数】
 11名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。